

# 婦団連通信

Fudanren newsletter

第11号

2025年1月1日

## 日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-303

TEL : 03-3401-6147 FAX : 03-5474-5585

URL : <http://fudanren.biz/>



### ジェンダー平等を 前にすすめる一年に

日本婦人団体連合会 会長 小畑 雅子



明けましておめでとうございます。

昨年11月30日に開催された婦団連第51回総会において、新たに会長に選出していただいた小畑雅子です。創立から70年を超え、平和とジェンダー平等を求め続ける婦団連の活動を、加盟組織の皆さまと力を合わせて、さらに発展させていきたいと思っております。

### 核兵器禁止条約に署名・批准を

2025年は、広島・長崎の被爆から80年、国連女性差別撤廃条約批准40年となります。折しも、昨年12月には、長年にわたり核兵器廃絶運動をけん引し、核兵器禁止条約締結に大きな力を発揮した功績などが認められ、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。被団協の受賞は、核抑止ではなく、核兵器廃絶こそが人類が核の脅威から逃れる唯一の道であることを全世界に発信する機会となりました。唯一の戦争被爆国である日本こそ、一日も早く核兵器禁止条約に署名・批准することが求められています。

### CEDAW勧告を生かして

また、国連女性差別撤廃委員会は、昨年10月、第9回日本政府報告書審議を経て、総括所見を発表しました。総括所見は、日本のジェンダー平等の進捗は遅いことを指摘し、社会のすべての段階において、女性、男性、少女、少年を対象として家父長的態度及び差別的固定観念を撤廃するための積極的、持続的な包括的戦略を求めています。選択議定書批准、選択的夫婦別姓制度実現など、婦団連も結集するJNNCをはじめとしたNGOが求めてきた内容が反映されたものとなりました。日本政府は、勧告を誠実に履行することが求められています。

### 新たな情勢のもと前進を

総選挙の結果生まれた与党過半数割れの情勢も生かし、憲法と女性差別撤廃条約にもとづいた女性たちの要求を前進させる1年にしていきましょう。



### 賛助会員のお願い

婦団連の活動を維持・発展させるため、賛助会員としてご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。賛助会費は月1口(1000円)から申し受け、賛助会員のみなさまには、「婦団連通信」、「女性手帳」、催しや出版物のご案内等をお送りいたします。

申し込みはFAX等で

### 女性に対する暴力撤廃国際デー

イスラエル大使館前で11月25日に40人が参加。最大の暴力は戦争、ジェノサイドに抗議、9人のリレートークでDV、性暴力被害をなくそうと訴え、日本共産党の山添拓参院議員も熱く語りました。

